

## 2023年7月～12月の対応実績

3次救急対応(北大関係者含む)

### 消防機関からの依頼

期間	要請件数	応需件数	不応需	応需率
2023年7月	115	76	39	66.1
2023年8月	178	86	92	48.3
2023年9月	124	67	57	54.0
2023年10月	122	82	40	67.2
2023年11月	130	80	50	61.5
2023年12月	156	99	57	63.5
合計	825	490	335	59.4

### 不応需理由

期間	対応病床なし	別患者対応中	専門科診療不可	三次救急適応外	停電	その他	合計
2023年7月	11	20	0	8	0	0	39
2023年8月	26	50	3	12	0	1	92
2023年9月	17	28	0	9	3	0	57
2023年10月	5	21	5	4	2	3	40
2023年11月	3	30	5	8	0	4	50
2023年12月	8	33	0	15	0	0	56
合計	70	182	13	56	5	8	334
割合	21.0%	54.5%	3.9%	16.8%	1.5%	2.4%	

### 医療機関からの依頼

期間	要請件数	応需件数	不応需	応需率
2023年7月	8	3	5	37.5
2023年8月	14	6	8	42.9
2023年9月	20	10	10	50.0
2023年10月	14	6	8	42.9
2023年11月	15	10	5	66.7
2023年12月	16	7	9	43.8
合計	87	42	45	48.3

### 不応需理由

期間	対応病床なし	別患者対応中	専門科診療不可	三次救急適応外	停電	その他	合計
2023年7月	2	1	1	1	0	0	5
2023年8月	0	3	1	4	0	0	8
2023年9月	5	3	0	2	0	0	10
2023年10月	1	3	4	0	0	0	8
2023年11月	0	3	0	1	0	1	5
2023年12月	2	2	1	4	0	0	9
合計	10	15	7	12	0	1	45
割合	22.2%	33.3%	15.6%	26.7%	0.0%	2.2%	

消防機関からの依頼に対する応需率は前期（1月～6月）よりもやや高く、不応需理由の内訳は大きな変化はない。医療機関からの依頼に対する応需率は前期よりもやや低く、不応需理由の内訳では専門科診療不可の割合が高くなっていた。

不応需理由の中で3次救急適応外は、依頼内容から他院での対応が可能と考えられた事案であり、他院への相談を提案しその後再依頼がない事案である。

## 再来患者

### 診療科内訳

	患者数
呼吸器内科	41
リウマチ・腎臓内科	37
糖尿病・内分泌内科	9
消化器内科	62
循環器内科	23
血液内科	7
腫瘍内科	20
消化器外科Ⅰ	17
消外Ⅰ小児外科	0
消化器外科Ⅱ	30
心臓血管外科	2
呼吸器外科	1
整形外科	1
泌尿器科	27
形成外科	7
乳腺内分泌外科	2
脳神経内科	17
耳鼻咽喉科頭頸部外科	3
皮膚科	4
脳神経外科	17
婦人科	3
小児科	30
放射線治療科	0
	360

### 受診時間帯

時間帯	0時	1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時
患者数	11	9	9	5	4	15	12	9	11
割合	3%	3%	3%	1%	1%	4%	3%	3%	3%

9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時
17	25	26	12	3	9	9	8	31
5%	7%	7%	3%	1%	3%	3%	2%	9%

18時	19時	20時	21時	22時	23時	合計
39	28	22	20	19	7	360
11%	8%	6%	6%	5%	2%	100%

再来患者数は前期（1～6月）よりも減少し、コロナ禍の影響も少なくなり通常に戻っていると考えられる。受診時間帯には大きな変化はみられない。

### 院内急変対応

患者数
33